

「平成29年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第1回）」
議事概要

I 日 時

平成29年6月23日（金）13：30～14：30

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階 会議室1～2

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

和田 義博（公認会計士）

◎疋田 英一郎（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○大塚 美智子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ 松田委員は欠席

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

- ① 平成29年7月から9月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 平成29年1月から3月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
 - I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
 - III：低落札率案件の予定価格設定等
- ③ 平成28年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画の自己評価について
- ④ 平成29年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画（案）について

（2）その他

V 議事内容

- (1) ① 平成29年7月から9月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 平成29年1月から3月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
- I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
 - III：低落札率案件の予定価格設定等

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<p>① 調達方法として、前回調達から連続して企画競争を選択する際には、その理由を明確にするとともに、選択の合理性・妥当性について検証を行うこと。</p> <p>② 調達を行った後、入札結果についてPDCAサイクルを回し、費用対効果を検証するとともに、成果について可視化すること。</p> <p>③ 政府機関向けの特別価格で提供されるものについては、その価格が通常の値段より安価であることを示す資料を入手すること。</p> <p>④ ライセンス購入については、その構成・形式等で調達単価が大きく変動するため、前回調達からライセンスの構成・形式等を変更する際には、その内容を比較し分かりやすく説明すること。</p> <p>⑤ 実質的に随意契約と見なされる事前確認公募の調達案件が増加傾向にあるが、この要因の分析を行い、第三者への説明を可能にすること。</p> <p>⑥ 他法人で内部告発により不適切な調達が発覚するという事案が発生しているが、PMDAでも内外からの通報制度を引き続き整備し、調達の透明性を高め、通報があった場合には真摯に対応すること。</p>	<p>ご意見のとおり、努めてまいりたい。</p>

- ③ 平成28年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画の自己評価について
- ④ 平成29年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画(案)について

標記について、昨年度の調達等合理化計画の自己評価の報告と今年度の調達等合理化計画案の審議が行われ、それぞれについて了承された。

(2) その他

平成29年7月～9月調達予定案件一覧表(最低価格落札方式)についての報告が行われた。